

日本トイレ協会メンテナンス研究会公式HP



報告レポート(第105回)



メンテナンス研究会の定例会の様子をレポートします。

2006年3月27日(月)16:00~18:00

■「トイレ診断士を語る」

講師:山戸伸孝、中嶋悦子(株式会社アメニティ)
会場:株式会社アメニティ 研修センター「環境館」
(横浜市神奈川区)

今回はメンテ研の企業会員でもある(株)アメニティを訪問し、山戸Mgから厚生労働省認定社内資格「トイレ診断士」について熱く語っていただきました。

●はじめに:会社見学

(株)アメニティは横浜駅と新横浜駅の中間に位置し、どちらの駅からも車で約15分ほどです。一見、ビルに囲まれた都会を創造しがちですが、1本横道に入るとまだまだ自然豊かな場所で驚きです。社屋も、ISO14001を取得されている企業らしく、環境への配慮のために屋上緑化を行っていました。

また、今回会場としてご提供していただいた場所は、昨年9月に完成した「研修センター環境館」。ここは、FC本部でもある(株)アメニティが、全国の加盟店を集めて研修や会議を行っているそうです。中には大便器、小便器が並んでいました。

●会社概要

アメニティネットワークFC本部で、全国69、海外3の加盟店があります。メインの商品は「尿石防止剤ピピダリア」「森林浴消臭剤メンブレン」「便座除菌液シートクリーナー」等です。今までは、これらを商品として販売していたが、最近ではトイレ診断士によるトイレ管理サービスに付属のような形で販売をおこなっています。

●トイレ診断について

厚生労働省認定の社内検定資格「トイレ診断士」はトイレの診断を行う資格で、トイレのお医者さんの様なものです。「トイレ診断士」には1級と2級があります。2級はトイレに顕在する箇所の診断能力を有する者、1級は顕在+潜在する診断能力を有する者が取得できます。診断の内容は、トイレ内の汚れ診断、臭気診断、水漏れ診断、ばい菌診断、自動機器の機能診断、排水管の尿石付着状況診断などなど、トイレ利用者が快適に使用できるトイレかを診断します。当たり前のことが当たり前になっているかを診断するのです。

診断結果は報告書を作成して、出来る限り数値と絵と動画などで報告します。この報告書にはトイレの現状をありのまま報告するのですが、予想



株式会社アメニティ



講師の山戸伸孝氏



専門家の話は具体的ですごい!



トイレ診断士はトイレのお医者様です。資格試験を合格しなくてはなりません。1級と2級ががあるとかが・・・。



臭気鑑定(便器の悪臭調査)の様子

以上の報告内容に驚かれる依頼主が多くなります。時にはトイレ管理に自信を持たれていた依頼主が、衝撃を受け過ぎて拒否反応を起こし、怒る方もいるほどです。

●100点のトイレは無い！

トイレ診断で様々な業種業態のトイレを回って気が付いたことは、最近ではトイレの重要性を認識している設備管理者も多く、汚れや臭いのあるトイレも少なくはなってきました。しかし、隅々まで診断すると全く問題の無いトイレは無いことに実感しています。どこかしらに汚れや臭気の問題があり、また設備の不良やイタズラ書きなどもあることも多々あります。キレイに見えるトイレも、60点位と言えるでしょう。

●トイレ診断の必要性

前述のように、トイレの快適性を求める声は年々高くなっています。そのためトイレ設備管理者は、快適性の向上に力を注いでいる様です。しかし、トイレの設備面に投資をすることはあっても、メンテナンス面に力を注いでいることは、まだまだ少ないようです。そのため60点位のトイレが多数存在するのです。
 しかし一番の問題は、現状60点のトイレだということを設備管理者が知らないということなのです。トイレ管理者は自分の所のトイレは100点だと思っているのです。
 そこで活躍するのが「トイレ診断士」です。「トイレ診断士」は現状トイレの状況をきちんと診断して、管理者に分かり易く報告します。トイレ管理者でも無く、常駐者でも無く、第3者的な立場でトイレを見る事が出来るのです。また「トイレ診断士」の資格者は、本来トイレメンテナンスのプロでもあり、問題箇所の改善点の熟知しています。
 今、「トイレ診断士」の必要性が高まる裏には、トイレ管理者と利用者の、両方のニーズに応えられるからではないでしょうか。
 以上(議事録:内田康治)



こんな汚れも発見&報告！

[TOP](#) [BACK](#)

[トップ](#)
[↑](#)

[戻る](#)
[↓](#)

